



# 南西小だより

令和5(2023)年度  
南阿蘇村立  
南阿蘇西小学校  
学校だよりNo.3号  
R5.7.7(金)  
文責 佐藤 和也

## ◎学級懇談会に寄せて(私の心に残っている子育てのことば)

本日は、ご多用な中、授業参観、PTA全体会、学級懇談会にご出席いただきましてありがとうございました。

本日の懇談会で、子どもたちのことを通して、保護者の方々と担任の連携が深まったのではと思っています。お子さんの健やかな成長のために、今後も担任(学校)と保護者の方々との信頼関係が深まることを願っています。

さて、学級懇談会に寄せて、私の心に残っている「子育てのことば」を紹介させていただきます。このことばに出会ったのは、小学生だった息子たちを習い事に連れて行っていたとき、待っている部屋に飾ってあったものです。私が習い事に連れて行くことはあまりなかったのですが、そのことばが今でも心に残っています。ご存じの方もおられるかも知れませんが、アメリカの教育学者ドロシー・ロー・ノルトさんという方のことばです。

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる  
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる  
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる  
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう  
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる  
広い心で接すれば、キレる子にはならない  
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ  
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ  
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる  
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ  
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る  
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ  
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ  
和気あいあいとした家庭で育てば、  
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる



私には息子が二人おります。二人とも成人ですが、今でも親として心配することばかりです。そして、今でもこのことばを、「なるほど」と思います。

でも、私にはできなかったことばかりです。このことばをしっかりと心に刻み、子どもに接しておけば……。後悔先に立たずです。

今、子育て中の保護者の皆さんには、時々、このことばを思い出され、お子さんとの接し方を振り返られる機会となればと思います。子どもは、私たちをよく見ているということでしょうか。(私たち職員も、子どもたちへの接し方を振り返ります。)

二人の息子を見ていると、「子どもは親の思うようにならない」「子どもは親の姿を見て育つ」ということをつくづく感じています。

いろいろな思い出も含めて、子育てをしていた?昔に戻りたいと思う今日この頃です。